

政策シート

(政策名) 生産基盤の安定による農業振興

(予算費目名) 農業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

農林漁業の新たな価値の創出や付加価値の向上、国内外の販路開拓を推進することで、雇用の創出と所得の向上による農林水産業の持続的発展を図る。
また、多面的機能を有する農業の基盤整備の推進を図るとともに、フルーツパークの管理運営を通じ、果樹農業振興と地域の発展を図る。
平成31年度から平成40年度を計画期間とする「はままつの新しい農業振興基本計画」の策定に向けた取り組みを行い、農業の持続発展に繋げる。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	182,213	305,814	254,902
決算	248,357	242,113	
人件費(A)	85,610	96,460	96,460
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	333,967	338,573	351,362

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
未来を拓く農林漁業育成事業費補助金 申請件数(累計)	件	200	目標	20	40	60
			実績	17	39	
フルーツパーク入園者数	人	300,000	目標	300,000	300,000	300,000
			実績	356,372	338,097	
			目標 実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

農林漁業の新たな価値の創出や付加価値の向上、国内外の販路開拓を推進することで、雇用の創出と所得の向上による農林水産業の持続的発展を図る。
また、多面的機能を有する農業の基盤整備の推進を図るとともに、フルーツパークの管理運営を通じ、果樹農業振興と地域の発展を図る。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

6次産業化・農商工連携事業を支援する「浜松市未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」制度をさらに3年延長して事業者の支援を行い、本市の農林水産物の高付加価値化、ブランド化を推進することができた。今後も、制度を活用した取り組みに対するフォロー体制を整備し、農業の所得向上を図る。
また、フルーツパークにおいては、指定管理者制度による民間事業者のノウハウを最大限に活用し、果樹農業の振興を図ることができた。一方、施設の老朽化も進んでいることから、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を図っていく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	(新規)農業振興基本計画推進事業			○		4,150	4,150					
2	豊かな産地の育成事業	○	○	○		109,275	66,295	6.1				0.1
3	次代につなぐ農業推進事業			○		42,981	31,081	1.7				
4	フルーツパーク管理運営事業					154,045	149,845	0.6				
5	農業政策運営経費					40,911	3,531	5.1				0.6
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						351,362	254,902	13.5				0.7

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) (新規) 農業振興基本計画推進事業

◇事業目的・事業対象

現行の浜松市農業振興基本計画の検証結果、国及び県の施策、先端農業の動向等を踏まえた新計画を策定し、本市における今後の農業振興の方向性を明確にするため、はままつの新しい農業振興基本計画を策定する。

◇事業の概要

- ・有識者等からの意見聴取及び情報収集
先端農業に関する有識者専門会議の開催(年2回)
- ・調査及び現状分析
アンケート調査及び現状分析など、計画策定のための基礎資料の作成
- ・庁内関係部局のワーキングによる協議
策定委員会に向けた庁内ワーキングの開催
- ・策定委員会における現計画の検証及び意見聴取
各種団体等の長を中心とする策定委員会の開催

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29	H30	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算			4,150
	決算			
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源			4,150
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
策定作業進捗率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			25	100		
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 豊かな産地の育成事業

◇事業目的・事業対象

農商工連携・6次産業化推進事業により、農林漁業の新たな価値の創出や付加価値の向上、販路拡大を図るとともに、農業振興エリア整備事業により、農産物の付加価値向上やブランド化を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.20】

1 農商工連携・6次産業化推進事業

(1)「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」事業の実施

①食と農林漁業の新たな事業創出・育成の助成及び支援業務委託 ②元気な農林水産業活動の助成

(2)海外等販路開拓支援事業

シンガポール等への輸出促進事業、三遠南信連携による販路開拓事業等

2 農業振興エリア整備事業

(1)生産力強化基盤整備事業

①認定農業者を対象とした基盤整備 ②一般農家等を主としたきめ細かな基盤整備 ③畑地かんがい施設の機能診断

(2)生産力推進調査事業

①新規参入者や担い手への高生産性農地を再編整備するための調査

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26	—	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	9,160	73,319	66,295
	決算	54,580	69,239	
	国・県支出	30,289	3,669	5,472
	市債	1,800	2,700	2,700
	その他			
	一般財源 一般会計繰入金	22,491	62,870	58,123
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		32,830	42,980	42,980
人工	正規	4.7	6.1	6.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.1	0.1	0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
未来を拓く農林漁業育成事業費補助金申請件数(累計)				I-1(1)ウ		20
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	20	40	60	80	100	200
実績値	17	39				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
農林水産物の海外販路開拓の商談会などにおける成約件数				I-1(2)ウ		20
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	5	5	5	5	25(累計)	
実績値	7	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.20】

1 農商工連携・6次産業化推進事業

(1)「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」事業の実施

①食と農林漁業の新たな事業創出・育成の助成及び支援業務委託 ②元気な農林水産業活動の助成

(2)海外販路開拓支援事業

シンガポール等への輸出促進事業等

2 農業振興エリア整備事業

(1)生産力強化基盤整備事業

①認定農業者を対象とした基盤整備 ②一般農家等を主としたきめ細かな基盤整備 ③畑地かんがい施設の機能診断

(2)生産力推進調査事業

①新規参入者や担い手への高生産性農地を再編整備するための調査

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

1 農商工連携・6次産業化推進事業

(1)「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」事業の実施

平成28年度 of 取組み件数は、①食と農林漁業の新たな事業創出・育成(7件)、②元気な農林水産業活動(15件) 事業者への進捗管理に向け委託による事業支援も積極的に実施した。

(2)海外販路開拓支援事業

浜松市農林水産物・食品輸出促進委員会を中心に商談会や販売プロモーション事業を実施した。

2 農業振興エリア整備事業

(1)生産力強化基盤整備事業

一般農家に対する生産環境整備が完了した。
畑地かんがい施設の長寿命化対策に着手した。

(2)生産力推進調査事業

新規参入者や担い手への高生産性農地を再編整備するための適地における、基本設計が実施された。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

1 農商工連携・6次産業化推進事業

「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」事業は3年目となり、農商工連携のモデルとなるような事業も出てきている。海外販路開拓事業は、事業を通じて、関係事業者との信頼関係の構築や意向のある事業者の把握などができた。

2 農業振興エリア整備事業

計画的に、農業生産力の強化を図る

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

1 農商工連携・6次産業化推進事業

補助制度は、事業の構想段階の支援の強化を継続する。海外販路開拓事業は産業や観光などと連携しながら効果的な事業展開を検討するとともに安定的な輸出に向けた支援策を検討する。

2 農業振興エリア整備事業

農業生産力の強化を図ると共に、高生産性農地の再編整備適地において、実施の可否について検討する。

補助シート (事業名) 豊かな産地の育成事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
20	<p>【農商工連携・6次産業化推進事業】</p> <p>1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付</p> <p>2 フォローアップの実施</p> <p>3 海外販路開拓支援事業</p>	<p>【農商工連携・6次産業化推進事業】</p> <p>1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付</p> <p>2 フォローアップの実施</p> <p>3 海外販路開拓支援事業</p>	<p>【農商工連携・6次産業化推進事業】</p> <p>1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付</p> <p>2 フォローアップの実施</p> <p>3 海外販路開拓支援事業</p>	<p>【農商工連携・6次産業化推進事業】</p> <p>1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付</p> <p>2 フォローアップの実施</p> <p>3 海外販路開拓支援事業</p>
	<p>【農業振興エリア整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産力強化基盤整備事業の実施 ・生産力推進調査事業の実施 	<p>【農業振興エリア整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産力強化基盤整備事業の実施 ・生産力推進調査事業の実施 	<p>【農業振興エリア整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産力強化基盤整備事業の実施 ・生産力推進調査事業の実施 	<p>【農業振興エリア整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産力強化基盤整備事業の実施

事業シート (事業名) 次代につなぐ農業推進事業

◇事業目的・事業対象

三方原用水二期地区整備事業や馬込川掃流用水調査事業等により、農業の基盤整備の推進を図る。また、西部農業共済組合支援事業や農業振興協議会等支援事業により、多様な主体による農業振興を図る。

◇事業の概要

- 1 三方原用水二期地区整備事業
国営三方原用水二期土地改良事業の平成36年度完了に向け、関係機関等との事業調整を実施し、事業の円滑な進捗を図る。
- 2 馬込川掃流用水調査事業
馬込川河口部の堆砂状況を調査することにより、馬込川掃流用水の水利権更新協議の円滑な実施を図る。
- 3 天竜川下流地区水利状況等調査事業
天竜川下流用水受益地に対し水利状況等の調査を行い、用水の効率的利用及び用水管理の適正化を図る。
- 4 ①西部農業共済組合支援事業(負担金)、②農業振興協議会支援事業
農業災害補償法に基づき、地域農業者の農業災害補償に関する保険事業等を実施する静岡県西部農業共済組合に対し負担金を支出する。「浜松市農業振興協議会」のほか、「ふじのくに美しく品格のある邑連合」へ負担金を支出することにより、多様な主体による本市農業施策の推進や農業振興を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	17,508	23,076	31,081
	決算	16,471	20,983	
国・県支出				
市債				
その他				
一般財源		16,471	20,983	31,081
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		11,200	11,900	11,900
人工	正規	1.6	1.7	1.7
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 三方原用水二期地区整備事業
国営三方原用水二期土地改良事業の平成36年度完了に向け、関係機関等との事業調整を実施し、事業の円滑な進捗を図る。
- 馬込川掃流用水調査事業
馬込川河口部の堆砂状況を調査することにより、馬込川掃流用水の水利権更新協議の円滑な実施を図る。
- 天竜川下流地区水利状況等調査事業
天竜川下流用水受益地に対し水利状況等の調査を行い、用水の効率的利用及び用水管理の適正化を図る。
- 西部農業共済組合支援事業(負担金)及び農業振興協議会支援事業
農業災害補償法に基づき、地域農業者の農業災害補償に関する保険事業等を実施する静岡県西部農業共済組合に対し負担金を支出する。「浜松市農業振興協議会」のほか、「ふじのくに美しく品格のある邑連合」へ負担金を支出することにより、多様な主体による本市農業施策の推進や農業振興を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- 三方原用水二期地区整備事業
国営三方原用水二期土地改良事業に着手し、耐震対策等が実施された。
- 馬込川掃流用水調査事業
馬込川河口部の堆砂状況の調査により、必要水量の詳細検討が実施された。
- 天竜川下流地区水利状況等調査事業
天竜川下流用水受益地のうち、南区および東区の一部において水利状況等の調査が実施された。
- 西部農業共済組合支援事業(負担金)及び農業振興協議会等支援事業
西部農業共済組合に対する支援を行い、農業災害共済事業の安定した運営を図ることができた。また、浜松市振興協議会においては、市内の農業者の代表者や農業団体等との意見交換及び農業振興活動助成事業などを行い、本市の農業施策の推進を図ることができた。また、ふじのくに美しい品格のある邑連合への負担では、農山漁村における地域資源の魅力向上に寄与することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 三方原用水二期地区整備事業
国営三方原用水二期土地改良事業に着手し、耐震対策等が実施された。
- 馬込川掃流用水調査事業及び天竜川下流地区水利状況等調査事業
馬込川河口部の堆砂状況の調査により、必要水量の詳細検討が行われた。また、天竜川下流用水受益地のうち、南区および東区の一部において水利状況等の調査が実施された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 三方原用水二期地区整備事業
国営三方原用水二期土地改良事業の円滑な実施を図る。
- 馬込川掃流用水調査事業及び天竜川下流地区水利状況等調査事業
馬込川河口部の堆砂状況の調査を継続し、データの蓄積を図る。また、天竜川下流用水受益地のうち、東区及び中区、浜北区について水利状況等の調査を行い、用水の効率的利用及び用水管理の適正化を図る。

事業シート (事業名) フルーツパーク管理運営事業

◇事業目的・事業対象

フルーツパークの施設を適切に管理・運営することで、果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくとともに、果樹農業及び地域の活性化を図る。

◇事業の概要

1 フルーツパーク管理運営事業

(1) フルーツパークの魅力を活かし、来園者が安全で安心して楽しめるよう指定管理者による管理運営に対する指導を行う。

(2) フルーツパーク内の市所有の果樹や展示温室等の適正な管理及び市の責務による施設等の維持管理を図るため、委託及び修繕工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	151,859	206,657	149,845
	決算	173,909	148,576	
	国・県支出			
	市債			
	その他		80	
	一般財源	173,909	148,496	149,845
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		4,200	4,200	4,200
人工	正規	0.6	0.6	0.6
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
フルーツパーク入園者数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	300,000	300,000	300,000	300,000		300,000
実績値	356,372	338,097				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

1 フルーツパーク管理運営事業

(1)フルーツパークの魅力を活かし、来園者が安全で安心して楽しめるよう指定管理者による管理運営に対する指導を行う。
(2)フルーツパーク内の市所有の果樹や展示温室等の適正な管理及び市の責務による施設等の維持管理を図るため、委託及び修繕工事を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

指定管理者から提案のあった自主事業は計画どおり履行されており、指定管理者のノウハウを活かした運営が行われた。
また、8月には自主事業において入浴施設を新設させ、新たな魅力の発信と顧客を増やす取り組みを積極的に展開している。
さらに、東側果樹園においては、自主事業によるイチゴ園を12月から5月まで実施し、露地の果樹がない時期の充実をはかるなど、来園者が年間を通じて「食」と「農」を楽しめるパークづくりが進められた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

指定管理者による管理の運営状況について事後評価を行い公表するとともに、指定管理者との連絡・相談体制の強化を図り、施設の管理に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

指定管理者制度による事後評価を行い、利用者のサービス向上と施設の安全で安心な管理運営に繋げる。

事業シート (事業名) 農業政策運営経費

◇事業目的・事業対象

農林水産政策課の一般諸経費

◇事業の概要

農業協同組合法、水産業協同組合法及び森林組合法に基づく検査及び許認可事務を行う。また、森林組合及び内水面漁協の常例検査を実施し、検査の報告徴収により、所管組合の業務及び財務状況を的確に把握し、業務改善等の個別指導を行うことで、関係法令の遵守への取組みを図る。
また、農産物品評会等における市長表彰による作物の高品質化や技術向上への取組みに対する意識の高揚や、農林水産関係情報発信事業を積極的に行い、市内農林水産の消費拡大に努める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	3,686	2,762	3,531
	決算	3,397	3,315	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,397	3,315	3,531
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		37,380	37,380	37,380
人工	正規	5.1	5.1	5.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.6	0.6	0.6

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

農業協同組合法、水産業協同組合法及び森林組合法に基づく検査及び許認可事務を行う。また、森林組合及び内水面漁協の常例検査を実施し、検査の報告徴収により、所管組合の業務及び財務状況を的確に把握し、業務改善等の個別指導を行うことで、関係法令の遵守への取組みを図る。
また、農産物品評会等における市長表彰による作物の高品質化や技術向上への取組みに対する意識の高揚や、農林水産関係情報発信事業を積極的に行い、市内農林水産の消費拡大に努める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

農業協同組合法、森林組合法及び水産業協同組合法の規定に基づき、農業協同組合、森林組合及び水産業協同組合の業務及び会計処理の状況を合法性、合目的性及び合理性の観点から検証し、経営状況等を的確に把握することで、組合に対する個別指導を適正に実施した。
農林水産業の情報発信については、農林水産関係各課の職員で構成する情報発信調整会議による情報収集を行い、農林水産ノートの発行、ホームページ及びフェイスブック等による情報発信を積極的に実施した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

農業協同組合法、水産業協同組合法及び森林組合法に基づく検査は、検査対象団体の経営の健全性や業務経営の適正性の確保が重要であることから、指導部局と検査部局との連携を密にした実施体制の推進を図った。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

農業協同組合法、水産業協同組合法及び森林組合法に基づく検査等の事務は、静岡県からの移譲事務であり継続して行う必要がある。また、情報発信事業の推進を図り、市民及び農業者に対し、農林水産業の魅力や市の施策を周知する。

政策シート (政策名) 生産基盤の安定による農業振興

(予算費目名) 畜産振興推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

畜産物の品質や生産性の向上のため、近代化、効率化を推進する。また、家畜衛生の向上を図り、周辺環境に配慮した畜産経営ができるよう環境対策に必要な設備・機械等の整備や衛生対策を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	6,608	123,516	6,624
決算	6,252	7,966	
人件費(A)	17,540	19,600	22,400
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	23,792	27,566	29,024

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
特定家畜伝染病発生防止(発生件数)	件	0	目標	0	0	0
			実績	0	0	
1戸あたりの牛・豚平均飼養頭数(頭)	頭	462	目標	343	356	369
			実績	304	324	
1戸あたりの採卵鶏・ブロイラー平均飼養羽数(千羽)	千羽	53	目標	36	37	38
			実績	35	38	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

畜産物の品質や生産性の向上のため、近代化、効率化を推進する。また、家畜衛生の向上を図り、周辺環境に配慮した畜産経営ができるよう環境対策に必要な設備・機械等の整備や衛生対策を推進する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
畜産農家戸数は減少しているものの、畜産業振興事業等を通じて飼養頭数の維持ができています。家畜衛生の向上により、鳥インフルエンザ等の法定家畜伝染病の発生がみられなかった。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	畜産経営環境改善支援事業					13,040	4,640	1.2				
2	畜産振興事業					13,015	1,815	1.6				
3	畜産振興運営経費(一般諸経費のみ)					2,969	169	0.4				
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						29,024	6,624	3.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 畜産経営環境改善支援事業

◇事業目的・事業対象

家畜伝染病の発生及びまん延防止を推進することで、家畜衛生の向上及び健全かつ安定的な畜産経営を図る。また、畜産経営に起因する悪臭や衛生害虫の発生を防止することで、家畜飼養環境を改善するとともに地域環境の保全を図り、併せて地域住民との調和を図る。

◇事業の概要

①畜産環境・衛生対策支援事業

・畜産経営悪臭防止対策

家畜排せつ物の処理施設・機械の整備に要する経費の一部を補助する。また、ハエ等の畜産衛生害虫の防除用資材を無償配付する。

・死亡獣畜処理対策

死亡獣畜の適正処理は家畜伝染病のまん延防止の重要な要因であるため、畜産農家にとって経済的な負担の大きい死亡獣畜の収集運搬処理に要する経費の一部を補助し、適正処理を推進する。

・家畜防疫対策

家畜防疫の円滑な推進を図るため、各種研修会等に参加し、情報の収集、伝達、啓発を行う。

・消費・安全対策事業

伝染性疾病・病害虫の発生予防・まん延防止のため、地域における車両消毒施設整備等に係る費用を補助する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務	浜州市畜産衛生事業費補助金	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	4,740	7,210	4,640
	決算	4,495	6,234	
	国・県支出		2,445	
	市債			
	その他			
	一般財源	4,495	3,789	4,640
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		6,320	7,700	8,400
人工	正規	0.8	1.1	1.2
	再任用(h31)	0.2		
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
特定家畜伝染病発生防止(発生件数)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	0	0	0	0	0	0
実績値	0	0				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

①畜産環境・衛生対策支援事業

・畜産経営悪臭防止対策

家畜排せつ物の処理施設・機械の整備に要する経費の一部を補助する。また、ハエ等の畜産衛生害虫の防除用資材を無償配付する。

・死亡獣畜処理対策

死亡獣畜の適正処理は家畜伝染病のまん延防止の重要な要因であるため、畜産農家にとって経済的な負担の大きい死亡獣畜の収集運搬処理に要する経費の一部を補助し、適正処理を推進する。

・家畜防疫対策

家畜防疫の円滑な推進を図るため、各種研修会等に参加し、情報の収集、伝達、啓発を行う。

・消費・安全対策事業

伝染性疾病・病害虫の発生予防・まん延防止のため、地域における車両消毒施設整備等に係る費用を補助する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

畜産経営に起因する悪臭苦情はあるものの、環境部局や関係機関と連携し、解決に向け畜産農家とともに改善を重ねていっている。また、死亡獣畜の不適切処理が原因とみられる家畜伝染病のまん延や放置死体が他動物のエサとなるなどの公衆衛生の低下に関連した事例が近年発生していないため、一定の成果が認められる。消費・安全対策事業の実施により、大型車両も含めた畜産関係車両の消毒を徹底し、地域内へのまん延リスクを低下させることができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

消費・安全対策事業(国庫)により、地域における車両消毒施設整備に係る費用の補助を実施した。特定家畜伝染病が他県で発生したにも関わらず市内発生が抑えられていることから、家畜防疫対策と合わせ、当事業による家畜防疫が徹底されている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

近隣諸国では未だ鳥インフルエンザや口蹄疫が猛威を振るっていることから油断はできない状況である。今後も継続した家畜防疫の徹底を周知していく。

また、環境対策は解決には時間がかかるものの、全国の優良事例など積極的に情報収集に努め最新技術導入を推進していく。

事業シート (事業名) 畜産振興事業

◇事業目的・事業対象

生産性の向上あるいは畜産物の品質向上のため、家畜の改良増殖や飼養技術の向上を推進し、畜産業の近代化、大規模化を推進する。

◇事業の概要

①畜産振興支援事業

・畜産振興協議会等に対する支援(負担金)

畜産振興に係る協議会が実施する各種事業を支援する。

・家畜飼養技術改善指導

乳牛の導入事業及び凍結精液を使用した乳牛の繁殖事業に要する経費の一部を補助する。また、各種研修会、視察等に参加し、そこで得た有益情報を市内畜産農家へ提供し共有化を図る。

・畜産共進会出品の奨励

家畜の改良増殖、飼養管理技術の向上及び消費者への啓発を目的としている静岡県畜産共進会への出品を支援する。

・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、飼養規模の拡大や飼養管理の改善を図るために整備する家畜飼養管理施設等や貸し付ける家畜の導入に係る経費を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務	浜州市畜産振興事業費補助金	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,662	116,132	1,815
	決算	1,618	1,602	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,618	1,602	1,815
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		7,720	9,100	11,200
人工	正規	1.0	1.3	1.6
	再任用(h31)	0.2		
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
1戸あたりの牛・豚平均飼養頭数(頭)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	343	356	369	382	382	462
実績値	304	324				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
1戸あたりの採卵鶏・ブロイラー平均飼養羽数(千羽)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	36	37.0	38.0	39	41.0	53
実績値	35	38				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

①畜産振興支援事業

・畜産振興協議会等に対する支援(負担金)

畜産振興に係る協議会が実施する各種事業を支援する。

・家畜飼養技術改善指導

乳牛の導入事業及び凍結精液を使用した乳牛の繁殖事業に要する経費の一部を補助する。また、各種研修会、視察等に参加し、そこで得た有益情報を市内畜産農家へ提供し共有化を図る。

・畜産共進会出品の奨励

家畜の改良増殖、飼養管理技術の向上及び消費者への啓発を目的としている静岡県畜産共進会への出品を支援する。

・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、飼養規模の拡大や飼養管理の改善を図るために整備する家畜飼養管理施設等や貸し付ける家畜の導入に係る経費を支援する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

飼料代高騰など経費の急増を余儀なくされ、畜産農家の負担は年々増加している。また、後継者不足などで畜産農家戸数が減少しているなかで、飼養頭数はある程度維持されていることから、事業効果が認められる。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業実施により飼養頭数が維持できている。

また、補正対応により畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(国庫)を推進した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

畜産農家戸数が減少している中、畜産物の供給を維持するためには引き続き事業実施が必要である。

また、素牛価格が高騰しているため、肥育肉用牛の素牛導入や繁殖事業の導入支援も検討していく。

事業シート (事業名) 畜産振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	206	174	169
	決算	139	129	
	国・県支出			
	市債			
	その他		8	
	一般財源	139	121	169
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	2,800	2,800
人工	正規	0.5	0.4	0.4
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 生産基盤の安定による農業振興

(予算費目名) 農業農村振興推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

浜松市民に対し、安全で安心な農産物を安定提供するために、必要不可欠な農業生産基盤の整備を推進し、良好な維持管理を継続的に実施する。
併せて、土地改良施設や農地の有する多面的機能を維持・発揮させるため、都市住民など地域外住民との交流を通じた活動への参加促進等を図り、新たな農村像について積極的に情報を発信する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	1,886,413	1,873,295	1,995,752
決算	1,834,012	1,814,450	
人件費(A)	128,100	129,100	133,100
報酬(B)	6,579	6,638	6,638
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,968,691	1,950,188	2,135,490

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
農地・水保全(多面的機能)管理支払交付金 取組全体面積(ha)	ha	5,500	目標	4,560	4,700	4800
			実績	4,270	4,366	
農業基盤整備国庫補助事業による農道整備延長(m)	m	2,060	目標	290	850	—
			実績	180	530	
農業基盤整備国庫補助事業による用排水路整備延長(m)	m	1,260	目標	570	980	1,440
			実績	530	970	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

浜松市民に対し、安全で安心な農産物を安定提供するために、必要不可欠な農業生産基盤の整備を推進し、良好な維持管理を継続的に実施する。
併せて、土地改良施設や農地の有する多面的機能を維持・発揮させるため、都市住民など地域外住民との交流を通じた活動への参加促進等を図り、新たな農村像について積極的に情報を発信する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 遅れている

多面的機能支払交付金においては、H28年度に新規4地区の拡大を計画したが地元調整の結果、1地区にとどまった。
農業基盤整備国庫補助事業においては、H28目標の整備を完了したく国へ予算要望を行ったが、予算割当が要望額の9割程度であったことから、目標に達することができなかった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	天竜川下流用水協議会等支援事業					5,835	4,435	0.2				
2	国・県施行事業	○	○			76,737	72,537	0.6				
3	農業農村整備支援事業	○	○			278,807	244,667	4.3	0.5		0.8	
4	農業農村整備償還助成事業					781,277	779,877	0.2				
5	かんがい排水整備事業	○	○			142,481	131,421	1.3			0.7	
6	農道整備事業	○	○			111,101	104,381	0.8			0.4	
7	農業農村施設維持管理事業					248,397	185,919	5.8	2.5	1.0	1.3	6,638
8	農業基盤整備国庫補助事業					23,160	21,060	0.3				
9	基幹水利施設維持管理事業					458,320	447,820	1.5				
10	ふるさと・水と土基金積立金					360	80				0.1	
11	春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金積立金					281	1				0.1	
12	農業農村振興運営経費(一般諸経費のみ)					8,734	3,554	0.5			0.6	
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						2,135,490	1,995,752	15.5	3.0	1.0	4.0	6,638.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 天竜川下流用水協議会等支援事業

◇事業目的・事業対象

農業総合整備事業の円滑な推進と技術向上を目的に、各土地改良事業関係団体に対し負担金を納入する。

◇事業の概要

生産性の高い農業の育成と活力ある農村社会の創設を目的とする静岡県土地改良事業団体連合会等の各土地改良事業関係団体に対し、規約等に定められた浜松市分の負担金を納入する。

- ・天竜川下流用水協議会負担金
- ・静岡県土地改良事業団体連合会負担金
- ・西遠土地改良事業推進協議会負担金
- ・浜松市農業農村整備事業連絡協議会負担金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和34年度	-	一般会計	自治事務	各協議会規約	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	3,902	3,891	4,435
	決算	3,837	3,890	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,837	3,890	4,435
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,100	2,100	1,400
人工	正規	0.3	0.3	0.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
事業目的に沿った事業が実施され、浜松市の事業運営に役立ったか(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100			
実績値	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

生産性の高い農業の育成と活力ある農村社会の創設を目的とする静岡県土地改良事業団体連合会等の各土地改良事業関係団体に対し、規約等に定められた浜松市分の負担金を納入する。

- ・天竜川下流用水協議会負担金
- ・静岡県土地改良事業団体連合会負担金
- ・西遠土地改良事業推進協議会負担金
- ・浜松市農業農村整備事業連絡協議会負担金

・事業の成果と課題

指標の達成度

静岡県土地改良事業団体連合会や天竜川下流用水協議会等の土地改良事業団体に対して、規約等で定められた当市分の負担金を納入した。

また、各協議会に参加することで、土地改良事業に関する技術習得や情報収集のほか、他市町・土地改良団体との意見交換を行うことができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

各協議会において、事業内容の見直し等改善がなされており、現在改善すべき点は見当たらない。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

各協議会への負担金は、参加団体との調整が必要で、市で一方向的に負担金額を見直すことはできない。改善が必要な事項は、その都度、各協議会の総会・役員会等で提言していく。

事業シート (事業名) 国・県施行事業

◇事業目的・事業対象

市の要望等により国や県が実施する事業に対して、市が負担金を支出し農業の生産性向上と経営基盤の安定を図る。

◇事業の概要

①県単独農業農村整備調査事業(負担金)

農業農村整備事業の計画樹立のため、静岡県が行う調査、測量、設計及び試験等に対し負担金を支出するもの。

[負担割合: 県50% 市50%]

②県営土地改良事業(負担金)

農業・農村の活性化や農業生産性の向上等を図るため、国・県の財源を活用し、条件不利地域の農業・農村の活性化、幹線水路などの基幹的農業水利施設の長寿命化、土地改良施設の防災・減災対策等の県営による農業農村整備事業に対し負担金を支出するもの。

[負担割合 工事費 国:50~55% 県:25~40% 市:5~25%]

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和42年度	-	一般会計	自治事務	整備事業に関する協定書	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	79,106	147,312	72,537
	決算	68,409	147,312	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	68,409	147,312	72,537
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		8,400	8,400	4,200
人工	正規	1.2	1.2	0.6
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
国・県施行各事業の毎年度達成率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100			100
実績値	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

①県単独農業農村整備調査事業(負担金)

農業農村整備事業の計画樹立のため、静岡県が行う調査、測量、設計及び試験等に対し負担金を支出するもの。

[負担割合:県50% 市50%]

※平成28年度は実施事業無し

②県営土地改良事業(負担金)

農業・農村の活性化や農業生産性の向上等を図るため、国・県の財源を活用し、条件不利地域の農業・農村の活性化、幹線用水路などの基幹的農業水利施設の長寿命化、土地改良施設の防災・減災対策等の県営による農業農村整備事業に対し負担金を支出するもの。

[負担割合 工事費 国:50~55% 県:25~40% 市:5~25%]

・事業の成果と課題

指標の達成度

市の事業要望を受け、県営土地改良事業による幹線用水路などの基幹的農業水利施設の長寿命化、土地改良施設の防災・減災対策等が実施され、農業基盤の強化が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市負担金の平準化のため、緊急性及び必要性を考慮し、優先度の高い事業について、事業化を国・県へ要望している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

市負担額の平準化を考慮しつつ、事業実施について、引き続き国・県へ要望していく。

事業シート (事業名) 農業農村整備支援事業

◇事業目的・事業対象

各土地改良事業の関係団体を育成支援するため、事業団体の管理運営経費・事業費に対して助成を行う。

◇事業の概要

①土地改良区施設整備助成事業(補助金)

土地改良事業および土地改良施設の維持管理をする土地改良区等に対して、農業の生産性の向上、農業総生産の増大、また農産物等の浸水被害の防止を図るための補助金

②多面的機能支払交付金事業

農業・農村の多面的機能を維持・発揮するため、農業者と非農業者で設立された組織が取り組む質の高い農業用施設や農村環境の保全管理活動に対し支援を行うもの。[事業負担割合 国:50% 県:25% 市:25%]

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和45年度	-	一般会計	自治事務	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	203,857	213,210	244,667
	決算	203,753	210,326	
	国・県支出	150,036	156,312	182,003
	市債			
	その他			
	一般財源	53,717	54,014	62,664
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		34,360	34,360	34,140
人工	正規	4.2	4.2	4.3
	再任用(h31)	0.8	0.8	0.5
	再任用(h26)	0.8	0.8	
	非常勤			0.8

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
農地・水保全管理(多面的機能)支払交付金 取組全体面積(ha)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	4,560	4,700	4,800			5,500
実績値	4,270	4,366				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

①土地改良区施設整備助成事業(補助金)

土地改良事業および土地改良施設の維持管理をする土地改良区等に対して、農業の生産性の向上、農業総生産の増大、また農産物等の浸水被害の防止を図るための補助金

②農地・水保全管理(多面的機能)支払交付金事業

農業・農村の多面的機能を維持・発揮するため、農業者と非農業者で設立された組織が取り組む質の高い農業用施設や農村環境の保全管理活動に対し支援を行うもの。[事業負担割合 国:50% 県:25% 市:25%]

・事業の成果と課題

指標の達成度

①各土地改良事業団体を育成支援するために管理運営等に要する経費に対しての助成を行ったことにより、土地改良事業の円滑な推進が図られた。

②当初4地区の新規取り組みを予定していたが、地元調整の結果、実施の見送り等により1地区となった。事業実施地域では、地域の市民協働による農地や農業施設の保全管理活動が実施された。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

国の制度改正により、交付金手続きが市の業務に移行し負担が増加したが、推進交付金の活用により臨時職員を任用し、人工を現状に抑えた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

農業農村の多面的機能を維持・発揮するため、保全管理活動に取り組む組織の拡大を図るための普及啓発を図っていく。

事業シート (事業名) 農業農村整備償還助成事業

◇事業目的・事業対象

農道や用排水施設整備等の土地改良事業の実施のため、土地改良区等が株式会社日本政策金融公庫等から借入れた事業資金の償還に対して助成することにより、農業生産基盤の整備促進を図る。

◇事業の概要

土地改良区等が施行する各種土地改良事業の事業資金の償還(元利均等返済)に対して補助金を交付することにより、土地改良区等の健全な運営を支援し、農業基盤の整備や施設の維持保全に努める。

- ①土地改良助成事業
- ②基幹農道整備助成事業
- ③県営ため池等整備助成事業
- ④県営かんがい排水助成事業
- ⑤県営基幹水利施設補修助成事業
- ⑥団体営基盤整備促進助成事業
- ⑦天竜川下流用排水土地改良助成事業
- ⑧県営畑地帯総合土地改良助成事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和30年度	-	一般会計	自治事務	市土地改良事業償還費補助金交付要綱	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	756,528	708,799	779,877
	決算	753,218	707,910	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	753,218	707,910	779,877
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,100	2,100	1,400
人工	正規	0.3	0.3	0.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

土地改良区等が施行する各種土地改良事業の事業資金の償還(元利均等返済)に対して補助金を交付することにより、土地改良区等の健全な運営を支援し、農業基盤の整備や施設の維持保全に努める。

- ①土地改良助成事業
- ②基幹農道整備助成事業
- ③県営ため池等整備助成事業
- ④県営かんがい排水助成事業
- ⑤県営基幹水利施設補修助成事業
- ⑥団体営基盤整備促進助成事業
- ⑦天竜川下流用排水土地改良助成事業
- ⑧県営畑地帯総合土地改良助成事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ①～⑧各助成事業

借入金の償還(元利均等償還)補助することにより、土地改良区の健全な運営を支援し、農業基盤の整備や施設の維持保全に努めることができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

農道や用排水施設整備など農業基盤の整備及び土地改良施設の維持保全等のため、各土地改良区の借入金の償還が完了するまで継続して、支援していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・借入償還補助(複数年)から直接補助(単年度)への見直しを検討
- ・繰上償還や金利の低い商品への借換えの検討
- ・三方原用水二期県営付帯事業の実施による事業費の増加が見込まれる。

事業シート (事業名) かんがい排水整備事業

◇事業目的・事業対象

農地に必要な用水を供給(かんがい)するとともに、不必要な水を速やかに排除(排水)する施設を整備して、農産物の生産性を高め、農地を守る。

◇事業の概要

- ①かんがい排水整備国庫補助事業
警戒ため池10池のうち、2池の耐震調査、5池のハザードマップ作成、1池の概略設計を行う。(国100%)
- ②かんがい排水整備県補助事業
静岡県単独による振興山村地域及び過疎地域等を対象とした補助事業を活用し、かんがい排水路の整備を実施する。
(県50%、市50%)
- ③かんがい排水整備単独事業
国・県の補助事業の対象とならない小規模な農業用水路の改良工事及び漏水等の維持修繕工事等を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和24年度	-	一般会計	自治事務	震災対策農業水利施設整備事業実施要綱	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	83,081	85,907	131,421
	決算	82,235	80,100	
	国・県支出	3,456	10,000	22,000
	市債			
	その他			
	一般財源	78,779	70,100	109,421
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		9,700	9,700	11,060
人工	正規	1.2	1.2	1.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	0.5	0.5	
	非常勤			0.7

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
用排水路の整備・補修(地元要望)に対する整備率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100			100
実績値	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

①かんがい排水整備国庫補助事業

警戒ため池10池のうち、2池の耐震調査と1池の概略設計を行う。(国100%)

②かんがい排水整備単独事業

国・県の補助事業の対象とならない小規模な農業用水路の改良工事及び漏水等の維持修繕工事等を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

老朽化が進む農業用排水路の修繕及び改良工事を実施したことにより、農業施設の維持保全と老朽化対策が図られ、農業用水の安定供給と良好な排水機能の発揮により、農産物の生産向上と経営の安定が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

優先箇所を選定し、老朽化が進む農業用排水路の補修・改良工事を予算の範囲内で実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

老朽化が進む農業用排水路の維持修繕の優先箇所を選定し、補助事業等の活用も含め負担軽減を図りつつ対策工事を進める。

事業シート (事業名) 農道整備事業

◇事業目的・事業対象

農業振興地域内において農道の整備を実施し、農産物輸送の合理化と農業経営の安定を図る。

◇事業の概要

①農道整備県補助事業

静岡県単独による振興山村地域及び過疎地域等を対象とした補助事業を活用し、農道整備を行い、農業機械の搬入による生産性向上及び農作物輸送による荷痛み等を防止し農業経営の安定を図る。(県:50%、市50%)

②農道整備市単独事業

国・県の補助事業とならない小規模な農道の整備工事および路面補修等の維持修繕工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和24年度	-	一般会計	自治事務	県単独農業農村整備事業費等補助金交付要綱	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	112,531	72,381	104,381
	決算	103,062	73,736	
	国・県支出	23,922	14,000	27,500
	市債	19,500	14,000	27,500
	その他			
	一般財源 一般会計繰入金	59,640	45,736	49,381
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		8,220	8,220	6,720
人工	正規	1.1	1.1	0.8
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	0.2	0.2	
	非常勤			0.4

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
農道の整備・補修(地元要望)に対する整備率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100			100
実績値	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

①農道整備県補助事業
静岡県単独による振興山村地域及び過疎地域等を対象とした補助事業を活用し、農道整備を行い、農業機械の搬入による生産性向上及び農作物輸送による荷痛み等を防止し農業経営の安定を図る。(県:50%、市50%)

②農道整備市単独事業〔決算45,736千円(うち前年度繰越3,608千円)〕
国・県の補助事業とならない小規模な農道の整備工事および路面補修等の維持修繕工事を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

農道維持・改良工事及び耐震対策工事を実施したことにより、農作物運搬での荷痛み防止が図られ、また、大型農機具の搬入が可能となり、農作物輸送の合理化と農業経営の安定が図られた。

・事業の見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工
優先箇所を選定し、整備・更新の緊急度が高い箇所から予算の範囲内で実施した。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工
事業の必要性等の施工箇所の優先順位づけにより事業実施を行うとともに、農道に築造された橋梁や擁壁等の重要構造物の耐震対策を計画的に実施していく。

事業シート (事業名) 農業農村施設維持管理事業

◇事業目的・事業対象

土地改良事業により整備された施設の適切な整備、補修等により、施設の目的を的確に捉えた維持管理を行う。

◇事業の概要

- ①揚排水施設・樋門維持管理事業：排水機場・揚水機場・樋門を適切に維持管理し、湛水被害を防止する。
- ②揚排水施設維持管理助成事業：土地改良区及び水利組合が管理する揚・排水機場の維持管理を支援する。
- ③土地改良施設維持管理適正化事業：土地改良施設老朽化対策のための総合的な計画により整備補修を行う。
- ④農村公園維持管理事業：地域の生活空間の憩いの場である農村公園の管理を実施する。
- ⑤田園空間施設維持管理事業：農村区域の伝統的農業施設や農村環境の豊かな自然情報発信のため、奥浜名湖田園空間博物館総合案内所及びみかんの里資料館を適正に管理運営する。
- ⑥農業農村改善センター維持管理事業：農村地域の住民等の健康保持及び生活向上を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和47年度	-	一般会計	自治事務(その他)	土地改良法、農村公園条例ほか	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	142,931	166,507	185,919
	決算	133,588	155,413	
	国・県支出			
	市債			
	その他	805	15,929	23,240
	一般財源	132,783	139,484	162,679
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		6,579	6,638	6,638
人件費 (千円)		40,560	41,560	55,840
人工	正規	4.4	4.4	5.8
	再任用(h31)	0.2	1.2	2.5
	再任用(h26)	2.4	1.4	1.0
	非常勤	1.0	1.0	1.3

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ①揚排水施設・樋門維持管理事業：排水機場・揚水機場・樋門を適切に維持管理し、湛水被害を防止する。
- ②揚排水施設維持管理助成事業：土地改良区及び水利組合が管理する揚・排水機場の維持管理を支援する。
- ③土地改良施設維持管理適正化事業：土地改良施設老朽化対策のための総合的な計画により整備補修を行う。
- ④農村公園維持管理事業：地域の生活空間の憩いの場である農村公園の管理を実施する。
- ⑤田園空間施設維持管理事業：農村区域の伝統的農業施設や農村環境の豊かな自然情報発信のため、奥浜名湖田園空間博物館総合案内所及びみかんの里資料館を適正に管理運営する。
- ⑥農業農村改善センター維持管理事業：農村地域の住民等の健康保持及び生活向上を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・保守・点検業者との連絡調整や、施設巡視により修繕等の必要な箇所の把握に努め、予算の範囲内で対策工事を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・排水機場の運転は地域住民に委嘱し実施しているが、高齢化等により引き受け手が年々減少している。また集中豪雨の頻発によりその負担も増加している。このため、業者委託による実施を検討する必要がある。

事業シート (事業名) 農業基盤整備国庫補助事業

◇事業目的・事業対象

競争力ある「攻め農業」を実現するため、地域の実情に応じて敏速かつきめ細やかな区画拡大等の農地の整備、老朽施設の更新等の農業水利施設の整備を実施することにより、農地の大区画化、担い手への農地集積を加速させる。

◇事業の概要

農業用排水路整備 3箇所
(負担割合: 国50%、市50%)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成25年度	-	一般会計	自治事務	農業基盤整備促進事業実施要綱	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	29,800	29,500	21,060
	決算	29,800	13,318	
	国・県支出	15,150	6,659	11,104
	市債			
	その他			
	一般財源	14,650	6,659	9,956
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		4,200	4,200	2,100
人工	正規	0.6	0.6	0.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
農業基盤整備国庫補助事業を活用した農道整備延長(m)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	290	850	-			2,060
実績値	180	530				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
農業基盤整備国庫補助事業を活用した用水路整備延長(m)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	570	980	1,440			1,440
実績値	530	970				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

農道整備工事 2箇所
(負担割合:国50%、市50%)

・事業の成果と課題

指標の達成度

年度計画を策定し計画的に更新整備を行っていく予定であるが、国の予算配当の状況、事業の進捗に影響が生じている。

農作業道整備の実施により、農作物運搬での荷痛み防止が図られ、また、大型農機具の搬入が可能となり、農産物輸送の合理化と農業経営の安定が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

要件の緩和された本事業を活用した農作業道や用排水路の基盤整備により、管理者負担の軽減や施設の機能回復が図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

要件の緩和された本事業を積極的に活用し、管理者負担の軽減や施設の機能回復が図るとともに、農地の大区画化や利用集積の推進する。

事業シート (事業名) 基幹水利施設維持管理事業

◇事業目的・事業対象

農業用水の安定供給のため、国営・県営土地改良施設の維持管理を行う。

◇事業の概要

①須部頭工ほか管理事業

浜名湖北部地域への農業用水の安定供給のため造成された国営施設(須部頭首工、湖北揚水機場及び都田川ダム取水施設)について、当施設の操作点検業務を浜名湖北部用水土地改良区へ委託して実施する。

②基幹水利施設維持管理負担金支援事業(負担金)

国営・県営土地改良施設のうち、農業用水、工業用水、上水道用水等の共有財産部分の管理費負担金を、浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に対して支出する。

③基幹水利施設維持管理助成事業(補助金)及び④基幹水利施設改修費助成事業(補助金)

三方原用水、天竜川下流用水、浜名湖北部用水等の基幹水利施設の維持管理・改修経費について、浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に対して補助金を交付する。

⑤浜名湖北部用水土地改良区合理化助成事業(補助金)

浜名湖北部用水土地改良区が、自主財源の確保等により経営の健全化を確立するまでの間、時限的(平成29年度まで)に補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和47年度	-	一般会計	自治事務	浜松市須部頭首工管理条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	469,737	442,605	447,820
	決算	452,641	419,472	
	国・県支出	26,044	26,262	26,942
	市債			
	その他	33,423	31,345	42,667
	一般財源	393,174	361,865	378,211
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		8,400	8,400	10,500
人工	正規	1.2	1.2	1.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ①須部頭工ほか管理事業
浜名湖北部地域への農業用水の安定供給のため造成された国営施設(須部頭首工、湖北揚水機場及び都田川ダム取水施設)について、当施設の操作点検業務を浜名湖北部用水土地改良区へ委託して実施する。
- ②基幹水利施設維持管理負担金支援事業(負担金)
国営・県営土地改良施設のうち、農業用水、工業用水、上水道用水等の共有財産部分の管理費負担金を、浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に対して支出する。
- ③基幹水利施設維持管理助成事業(補助金)及び④基幹水利施設改修費助成事業(補助金)
三方原用水、天竜川下流用水、浜名湖北部用水等の基幹水利施設の維持管理・改修経費について、浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に対して補助金を交付する。
- ⑤浜名湖北部用水土地改良区合理化助成事業(補助金)
浜名湖北部用水土地改良区が、自主財源の確保等により経営の健全化を確立するまでの間、時限的(平成29年度まで)に補助金を交付する。

・事業の成果と課題

- 指標の達成度
- ①市が国から受託している国営施設(都田川ダム取水施設、須部頭首工、湖北揚水機場)の操作を浜名湖北部用水土地改良区へ委託することにより、農業用水を浜名湖北部地域の樹園地等へ安定的に供給することができた。
- ②三方原用水、天竜川下流用水、浜名湖北部用水等の基幹水利施設の農水・工水・上水の共有部分について、農水分の管理費用を浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に負担金として支出した。
- ③土地改良施設の維持管理のため補助金を交付することで施設の管理が適切に行われ、市内各地の耕作地へ農業用水を安定的に供給することができた。
- ④土地改良施設の改修に対し、補助金を交付することにより、施設の老朽化防止や機能の維持が図られた。
- ⑤浜名湖北部用水土地改良区に対し運営補助金を交付することで、安定的な運営がなされ、浜名湖北部地域の土地改良施設が適切に管理された。

・事業の見直し

- 実施結果
- 大項目 改善 小項目 その他 / 収集・分析 事業費 縮小 人工 現状
- ①浜名湖北部用水土地改良区職員の退職に伴い、H28年度操作点検業務に係る人件費分の見直しを行った。(人件費の縮小)
- ③広域土地改良区(浜松土地改良区・浜名湖北部用水土地改良区)の効率的な運営に向けた検討を行った。
- ⑤人件費等の削減により合理化を進めた結果、浜名湖北部用水土地改良区に対する市補助金等の総額は、合理化補助金の導入前(H23年度)と比較し、26%縮減された。
- 今後の方向性
- 大項目 改善 小項目 収集・分析 / 財源創出 事業費 縮小 人工 現状
- ・事務・事業の効率的かつ効果的に遂行できる組織体制を目指し、広域土地改良区の合同事務所の設置に向けた調整を進めていく。
 - ・土地改良区運営に係るコスト削減を進めるとともに、小水力発電などの自主財源の確保について研究していく。

事業シート (事業名) ふるさと・水と土基金積立金

◇事業目的・事業対象

土地改良施設等の地域資源の保全及び活用を通して、農村地域の活性化を図るために設置している「浜松市ふるさと・水と土基金」から生じる利子を積み立てる。

◇事業の概要

ふるさと・水と土基金を運用し、積立利子によりふるさと・水と土保全事業を行う。
 本基金は、平成5年に「ため池や用水路等の機能を維持するために地域住民の活動等を促進することを目的に、市町村の基金の設置に要する経費」として地方交付税を基金としたものである。
 土地改良施設等の地域資源の保全及び活用を通して、農村地域の活性化を図るために設置している「浜松市ふるさと・水と土基金」から生じる利子を積み立てるもの。
 ○平成28年度末残高 108,061,959円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成5年度	-	一般会計	自治事務	ふるさと・水と土基金条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	179	222	80
	決算	179	222	
	国・県支出			
	市債			
	その他	179	222	80
	一般財源			
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	700	280
人工	正規	0.1	0.1	
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

ふるさと・水と土基金を運用し、積立利子によりふるさと・水と土保全事業を行う。
本基金は、平成5年に「ため池や用水路等の機能を維持するために地域住民の活動等を促進することを目的に、市町村の基金の設置に要する経費」として地方交付税を基金としたものである。
土地改良施設等の地域資源の保全及び活用を通して、農村地域の活性化を図るために設置している「浜松市ふるさと・水と土基金」から生じる利子を積み立てるもの。
○平成28年度末残高 108,061,959円

・事業の成果と課題

指標の達成度

「浜松市ふるさと・水と土基金」の運用収入を財源とし、ふるさと・水と土保全事業を実施する活動団体に対して、補助金を交付することで、農村地域の活性化と環境維持が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

ふるさと・水と土保全事業の実施により、農村地域の活性化と環境維持が図られていることから、ふるさと・水と土基金を存続させる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・基金廃止について検討したが、地方交付税を基金としたものであり、返還措置の可能性があるので、廃止する場合の影響等を整理したうえで、方向性を定めていく。

・基金事務に係る人工を見直し、正規職員から再任用職員への変更について検討する。

事業シート (事業名) 春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金積立金

◇事業目的・事業対象

「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」を運用し、かんがい排水事業や補償事業の資金に充てるとともに、基金から生じる利子を積み立てる。

◇事業の概要

昭和41年、電源開発(株)が行った水窪発電所新設工事に伴い、気田川上流(門桁地内)からの取水に対しての補償金として、168,000,000円を受けた。これを「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」として運用し、積立利子により補償対象地域の土地改良施設の動力費等に充てるとともに、基金から生じる利子を積み立てる。

○平成28年度末残高 3,763,617円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和41年度	平成33年度	一般会計	自治事務	浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金条	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	5	1	1
	決算	5	1	
	国・県支出			
	市債			
	その他	5	1	1
一般財源				
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	700	280
人工	正規	0.1	0.1	
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

昭和41年、電源開発(株)が行った水窪発電所新設工事に伴い、気田川上流(門桁地内)からの取水に対しての補償金として、168,000,000円を受けた。これを「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」として運用し、積立利子により補償対象地域の土地改良施設の動力費等に充てるとともに、基金から生じる利子を積み立てる。

○平成28年度末残高 3,763,617円

・事業の成果と課題

指標の達成度

「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」の運用収入を財源として、春野地区におけるかんがい排水施設(揚水機場等)を適切に管理することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

春野地区のかんがい排水施設を適切に管理するため、現状どおり「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」を財源としていく。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 非常勤・再任用 / - 事業費 現状 人工 縮小

- ・施設の維持管理のため、毎年度基金を取り崩しており、平成33年度には基金残高が無くなる見込みである。
- ・基金事務に係る人工を見直し、正規職員から再任用職員への変更について検討する。

事業シート (事業名) 農業農村振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	4,756	2,960	3,554
	決算	3,285	2,750	
	国・県支出			
	市債			
人件費(報酬等) (千円)	その他			
	一般財源	3,285	2,750	3,554
	一般会計繰入金			
人工	人件費 (千円)	8,660	8,660	5,180
人工	正規	0.8	0.8	0.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	0.1	0.1	
	非常勤	1.0	1.0	0.6

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目	現状	小項目	-	/	-	事業費	縮小	人工	現状
-----	----	-----	---	---	---	-----	----	----	----

今後の方向性

大項目	現状	小項目	-	/	-	事業費	拡大	人工	現状
-----	----	-----	---	---	---	-----	----	----	----